

第1学年 国語科 学習指導案

日時 令和5年11月24日（金）5校時

児童 1年生 4名

授業者 佐藤 綾子

- 1 単元名 「しごと」と「つくり」の関係を見つけ、じどう車ずかんをつくろう
教材名 「じどう車くらべ」
「じどう車ずかんをつくろう」（光村図書1年下）

2 単元の目標

- (1) 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕 (2) ア
- (2) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
〔思考力、判断力、表現力〕 C (1) ウ
- (3) 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
〔思考力、判断力、表現力〕 B (1) イ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 教材について

本教材は、児童にとって身近な自動車に焦点を当てた説明文である。それぞれの自動車がどのような「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているかが分かりやすい文章構成となっている。また、「しごと」と「つくり」が「そのために」という言葉でつながっており、それぞれの自動車の「しごと」のための「つくり」になっているという関係性を読み取ることができる教材となっている。

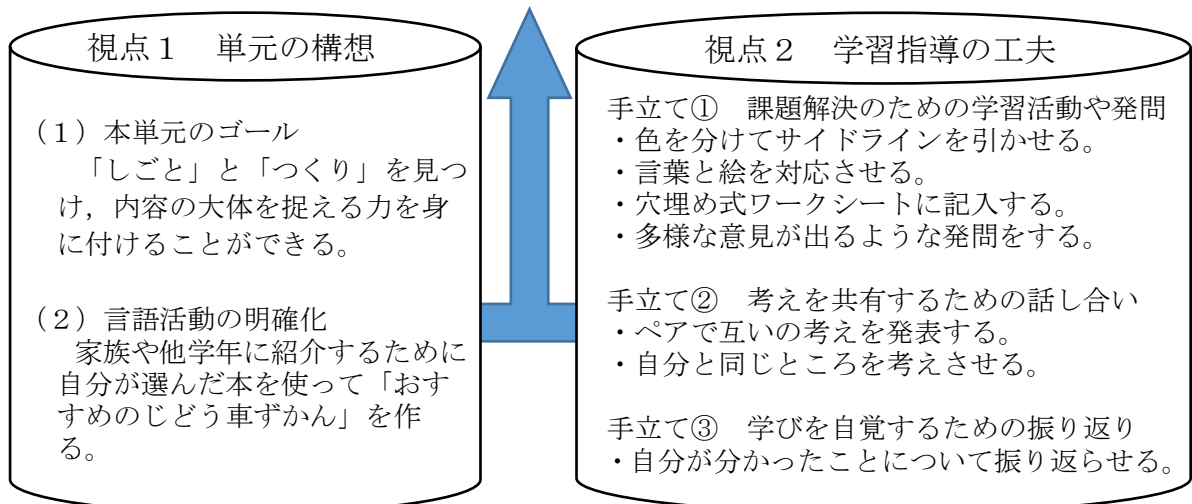
(2) 児童の実態について

児童はこれまでに「くちばし」を読み、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える経験をしてきている。また「うみの かくれんぼ」では「問い－答え－答え－答え」という列挙型で説明されている文章を読み、文章の中の重要な語や文を見つけたり、段落を比べて読んだりする学習もしてきた。

児童は音読や重要な言葉を見つけることに意欲的である。しかし個々の力の差が大きく文章の内容を正確に捉えることや、問われている言葉の意味を正しく理解するのは難しい。このことから本単元では、内容の大体を捉えながらも文章の中の重要な語や文、事柄のつながりを丁寧に指導し、意欲をもって自動車図鑑を作れるように指導していきたい。

(3) 指導の工夫（研究に関わって）

読む力…「文章を正確に読み、叙述に即して内容を正確に理解し、読み取ったことをもとに自分の考えをもつ力」



4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ ②「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ	・進んで、説明における事柄の順序を考え、今までの学習を想起して、じどう車ずかんを紹介している。

5 学習指導計画(11時間)

学習過程	時	主な学習活動	評価規準
見通し	1	○知っている自動車を発表する。 ○自動車クイズを行う。 ○範読を聞き、出てきた自動車や語句について確かめ、学習課題を確認する。 ○「おすすめのじどう車ずかん」を作ることを知る。	
構造と内容の把握	2	○問いや答え、出てきた自動車などを確かめ、文章全体の内容の大体を捉える。	【知】 「問い」の文に線を引いているか確認する。それぞれの車において「しごと」と「つくり」に印をつけているか確認する。 [発言・記述]
精査・解釈	3	○それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	【思①】 それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を見つけ、サイドラインを引いたり、ワークシートに書いたりしているか確認する。 [発言・ワークシート]
	4		
	5(本時)		
形成の	6	○どんな順番で自動車が登場しているかを話し合う。	
	7	○はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、カードにまとめる。	
内容情報の収集、題材の設定	8	○本などを使って紹介したい自動車の「しごと」や「つくり」について調べ、まとめる。 ○分かりやすい説明になっているか順序を確認し、絵などを描き「じどう車しょうかいカード」を完成させる。	【思②】 既習を基に、カードを並べ替えて説明の簡単な構成を考えているかを確認する。 [発言・ワークシート]
構成の検討	9		
記述の形成	10		
共有	11	○「じどう車しょうかいカード」を読み合い、感想を伝え合う。 ○クラスのカードを集め、どのような順番で並べるか話し合い、1冊の図鑑にする。 ○学習を振り返る。	【態】 順序についての感想をカードに書き伝えているか確認する。[発言・ワークシート]

6 本時の指導 (5/11)

(1) 目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。

(2) 評価規準

クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つけ、ワークシートに書くことができる。

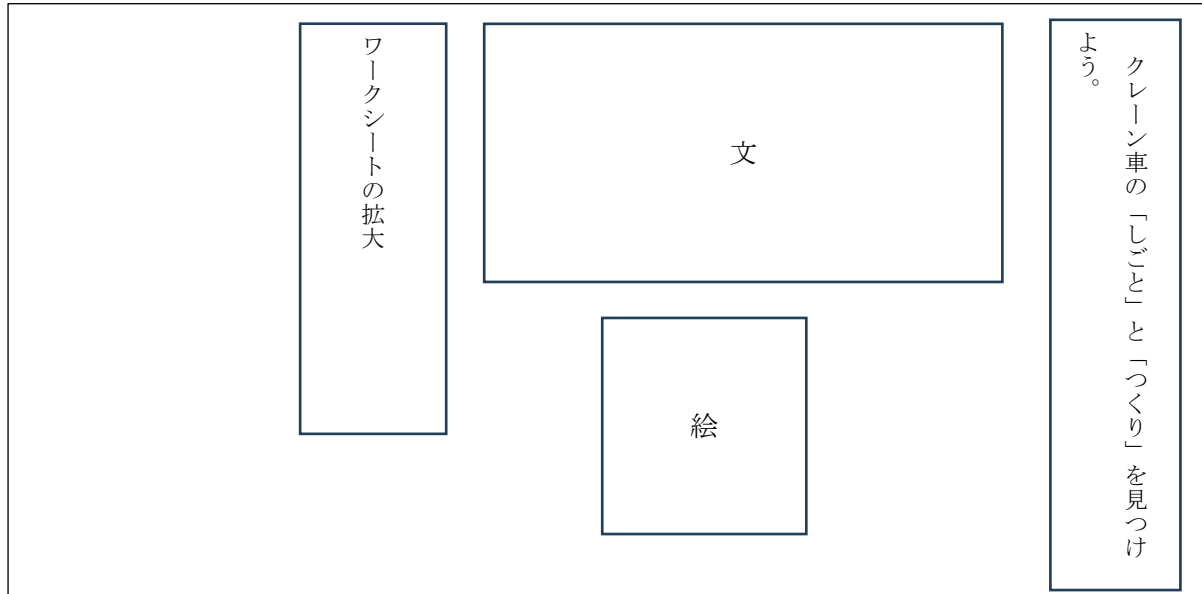
ねらいを達成している児童の姿・見取りのポイント	支援を要する児童への手立て
「つくり」と「しごと」の文にサイドラインを引き、文章の中から、重要な語を選び出している。 ・おもいものをつり上げる ・じょうぶなうでがのびたりうごいたりする ・しっかりしたあし	前時の学習や板書を手掛かりにヒントを与え、一緒に考える。

(3) 展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◎評価
導入 (10分)	1 前時までの学習を想起する。	・自動車には、それぞれ「しごと」と「つくり」があったことを想起させる。 ・「しごと」と「つくり」は「そのために」という言葉でつながっていたことを確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。 クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つけよう。	
	3 課題解決の見通しを持つ。	・これまでの見つけ方を確認する。
展開 (30分)	4 課題解決をする。 ○教材文を音読する。 ○「しごと」と「つくり」を見つけ交流する。 ○クレーン車の特徴を捉える。 ○クレーン車の「しごと」と「つくり」について、ワークシートに記入しまとめる。 ○見つけたことを絵で確認する。 ○クレーン車のおすすめポイントをワークシートに記入し交流する。 ○3つを比べ、なぜ「つくり」が違うのかを考えさせる。	・「しごと」と「つくり」を考えながら読ませる。 ・前時までの学習を基に、個々にサイドラインを引かせる。(手立て①) ・サイドラインを引いたところを、ペアで確認する。(手立て②) ・全体で確認する。 ・教科書をよく読み、大事な部分だけを書かせる。 ・見つけた内容の理解を深めさせる。(手立て①) ◎【思①】クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えている。 C (1) ウ [発言・ワークシート] ・「つくり」を比較し、「しごと」と「つくり」の関係を改めて捉えさせる。(手立て①)

終末 (5分)	5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習で分かったことについてワークシートに記入をする。(手立て③) 次時は、自動車の登場順について考えることを伝える。
	6 次時の学習を確認する。	

(4) 板書計画



7 考察

【成果】

- 特に手立て①を単元を通じて行うことで、児童が達成感を感じながら進められたように思う。(スモールステップのように)

【課題】

- 理解を深めるために「おすすめポイント」を書かせたが、生活経験の少ない児童にとって、クレーン車で吊り上げるものを想像し、おすすめするのが難しかった。
- 最後の言語活動で、自動車図鑑を作ったが、本の内容をそのままうつすだけの児童がほとんどだった。授業で学んだことが生かされていなかったなので、次は言語活動にも生かせるような授業内容を考えるようにする。